

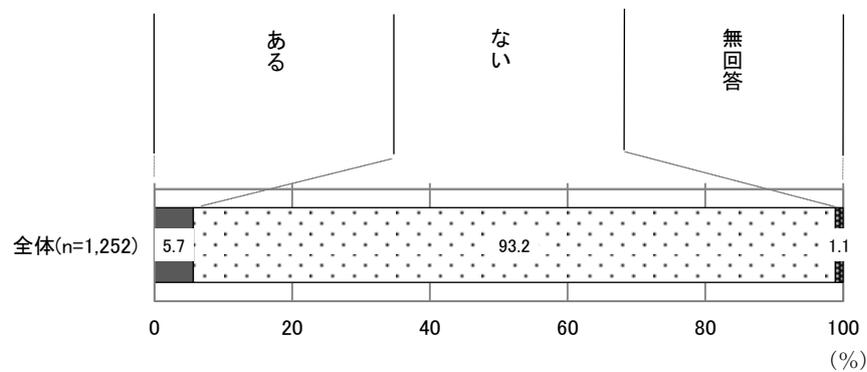
#### 4 消費生活に関する講座や催しについて

##### (1) 消費生活の講座や催しへの参加経験

◆「ある」が5.7%、「ない」が93.2%

問 22 県や市町村が開催している消費生活の講座や催しに参加したことがありますか。  
(○は1つ)

図4-1 消費生活の講座や催しへの参加経験



消費生活の講座や催しに参加した経験について聞いたところ、「ある」は5.7%となっている。一方、「ない」は93.2%となっている。(図4-1)

【性別】

消費生活の講座や催しに参加した経験が「ある」という回答は、男性（4.7%）よりも、女性（6.4%）が1.7ポイント高くなっている。（図4-2）

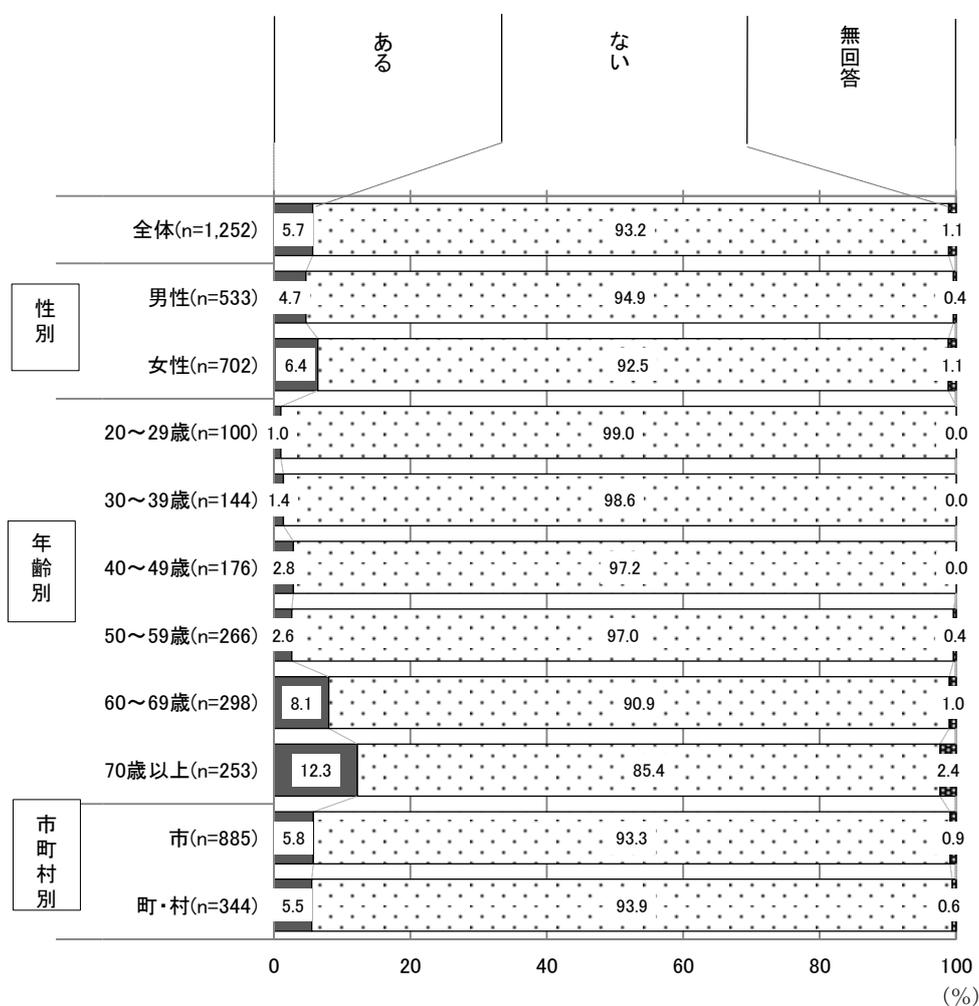
【年齢別】

「ある」という回答が最も多いのは、70歳以上（12.3%）となっている。おおむね年齢が高くなるほど、回答割合も高くなっている。（図4-2）

【市町村別】

市と町・村では大きな差はみられない。（図4-2）

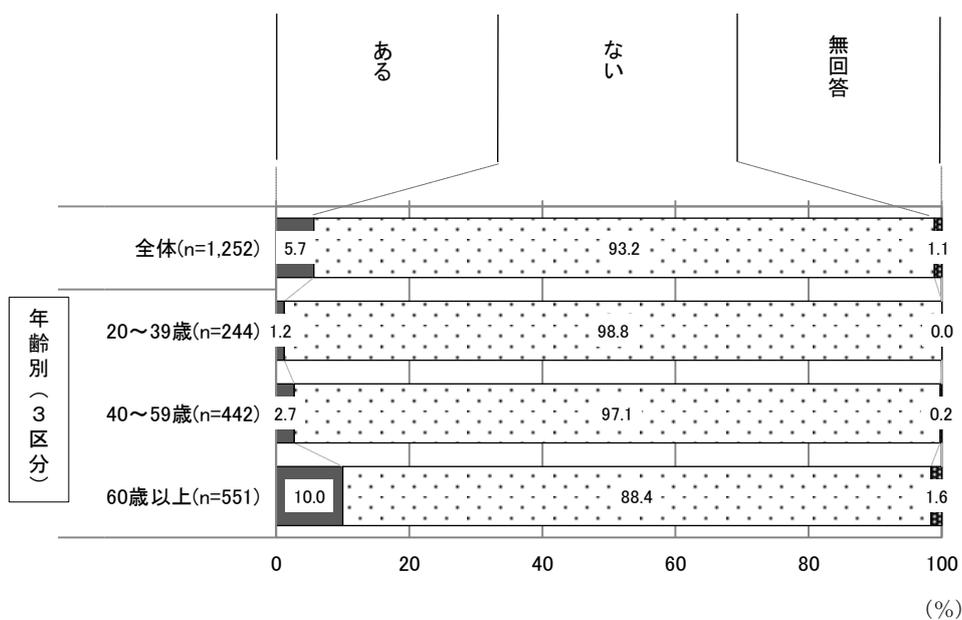
図4-2 消費生活の講座や催しへの参加経験 性別・年齢別・市町村別



【年齢別（3区分）】

「ある」という回答割合が最も高いのは60歳以上（10.0%）で1割となっている。一方、59歳以下ではごくわずかとなっており、3.0%を下回っている。（図4-3）

図4-3 消費生活の講座や催しへの参加経験 年齢別（3区分）



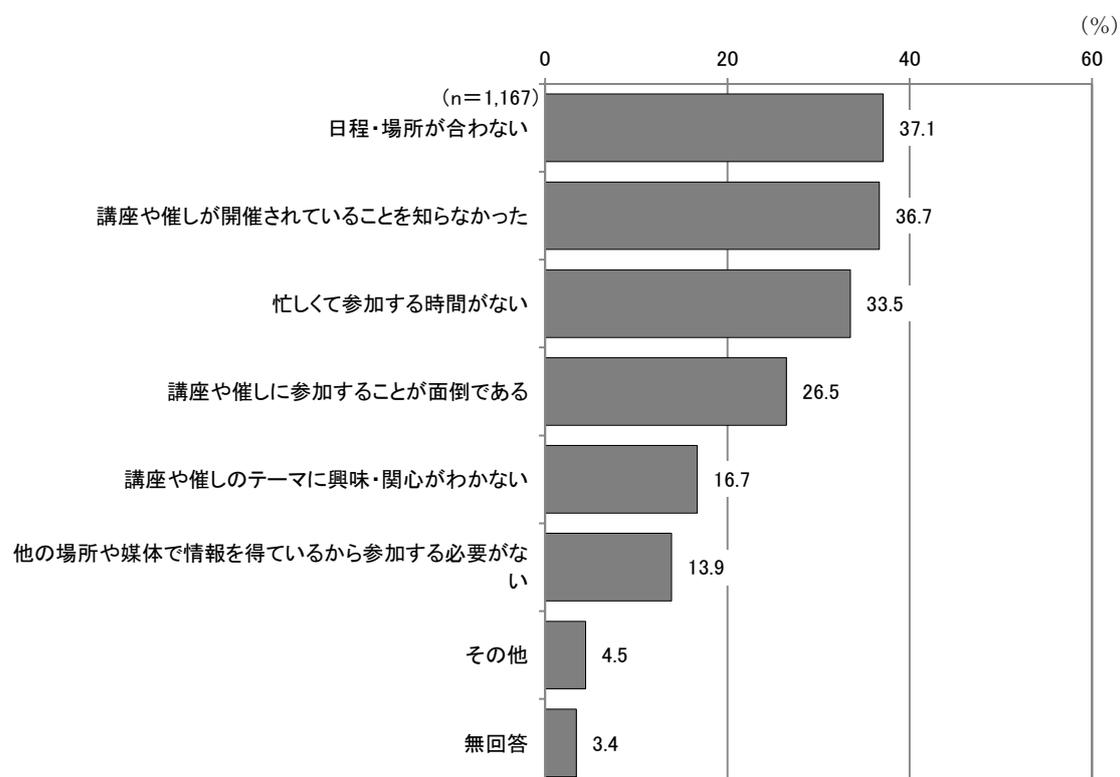
## (2) 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由

◆「日程・場所が合わない」が37.1%

(問22で「②ない」と回答した方のみ)

問23 消費生活の講座や催しに参加したことがないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

図4-4 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由



問22で、消費生活の講座や催しに参加した経験が「ない」と回答した方に、その理由について聞いたところ、「日程・場所が合わない」(37.1%)が最も多くなっている。次いで、ほぼ同じ回答割合で「講座や催しが開催されていることを知らなかった」(36.7%)が続き、以下、「忙しくて参加する時間がない」(33.5%)、「講座や催しに参加することが面倒である」(26.5%)と続いている。(図4-4)

【性別】

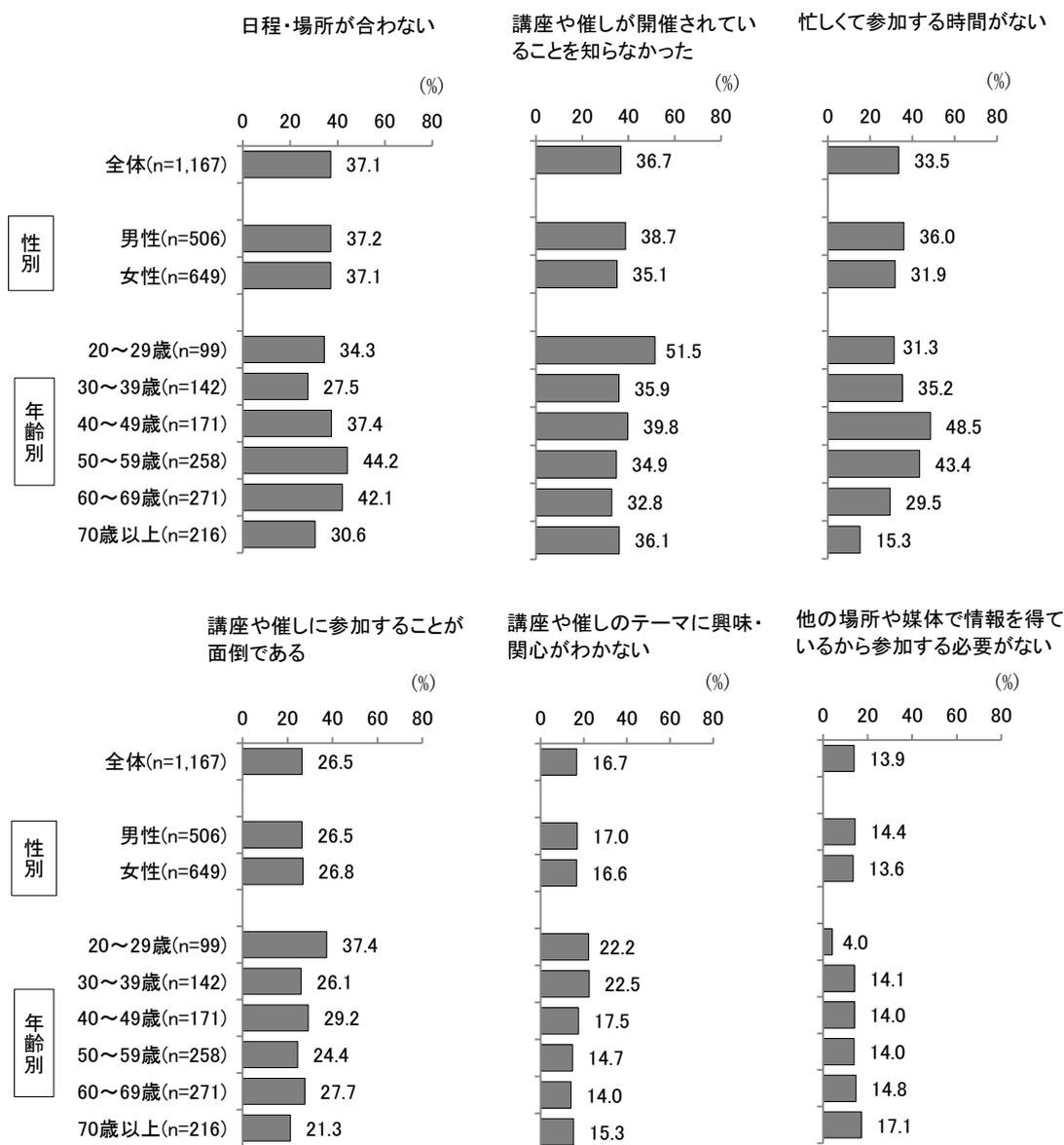
上位6項目中5項目で男性の回答割合が女性を上回っている。

特に、「忙しくて参加する時間がない」では、男性(36.0%)が女性(31.9%)より4.1ポイント高く、最も差が大きくなっている。(図4-5)

【年齢別】

「講座や催しが開催されていることを知らなかった」という回答は、20~29歳(51.5%)で最も多く、5割を超えている。「忙しくて参加する時間がない」は、40~49歳(48.5%)で最も多く、約5割となっている。(図4-5)

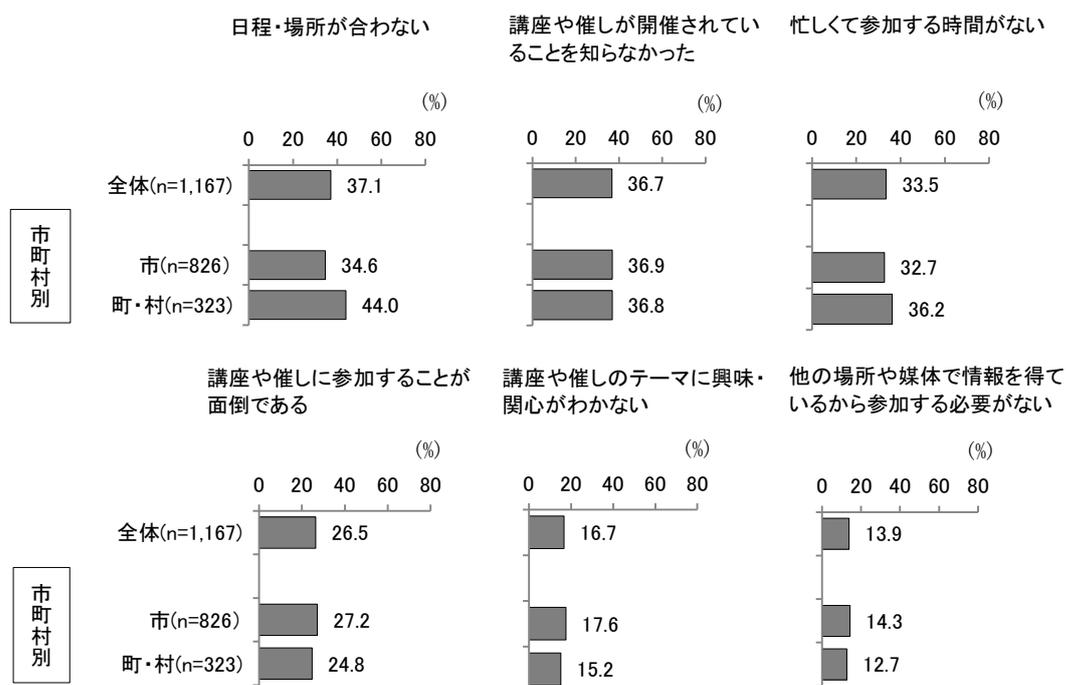
図4-5 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由(上位6項目) 性別・年齢別



【市町村別】

「日程・場所が合わない」は、市（34.6%）よりも町・村（44.0%）が9.4ポイント高くなっている。（図4-6）

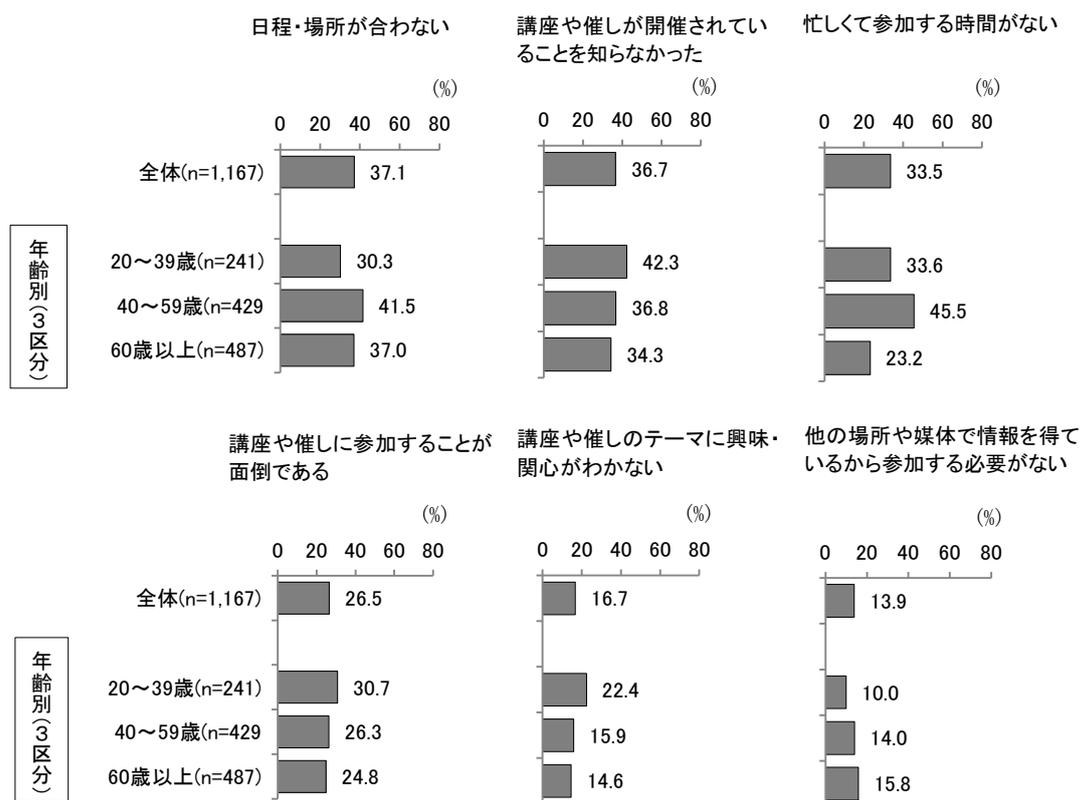
図4-6 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由（上位6項目） 市町村別



### 【年齢別（3区分）】

「講座や催しが開催されていることを知らなかった」、「講座や催しに参加することが面倒である」、「講座や催しのテーマに興味・関心がわからない」の3項目は、年齢が高くなるほど回答割合は低くなっている。一方、「他の場所や媒体で情報を得ているから参加する必要がない」は、年齢が高くなるほど、回答割合も高くなっている。（図4-7）

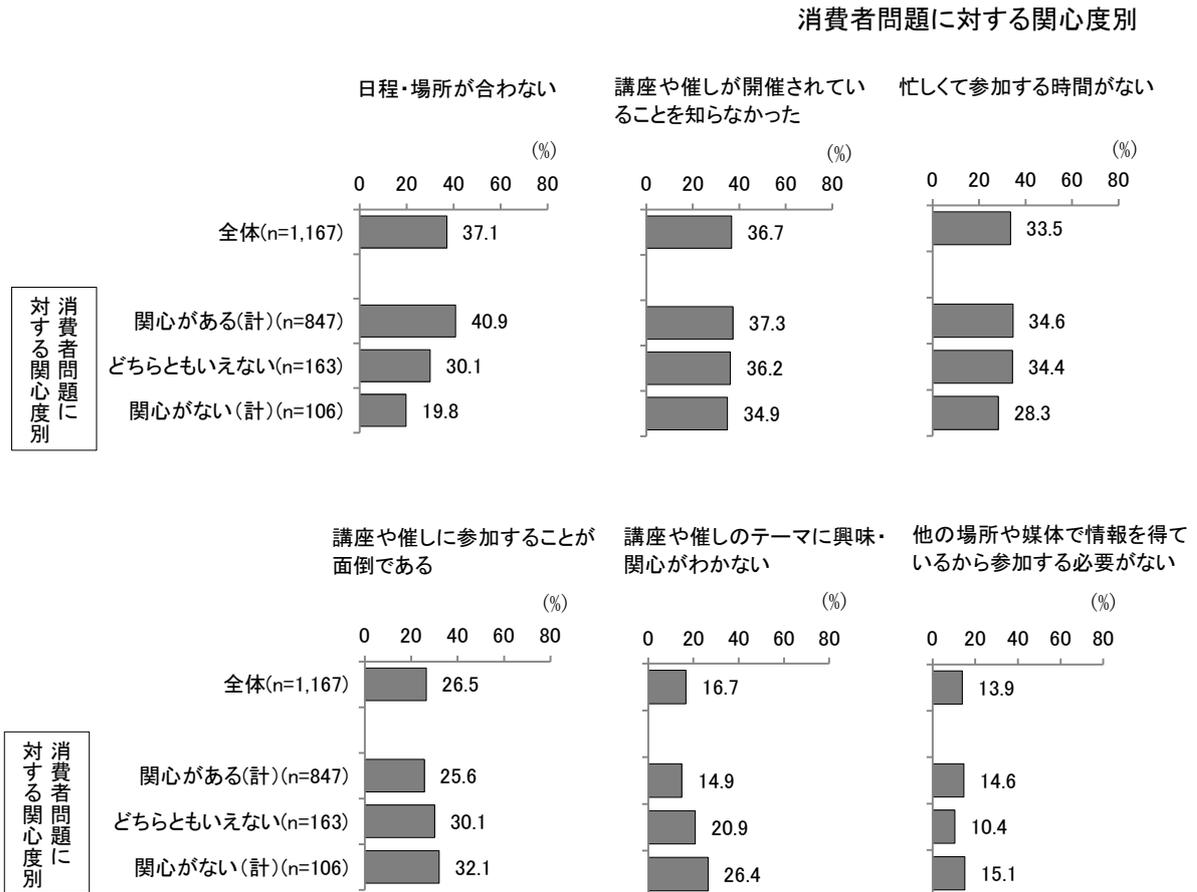
図4-7 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由（上位6項目） 年齢別（3区分）



【消費者問題に対する関心度別】

上位3項目は、消費者問題に対する関心度が高いほど、回答割合も高くなっている。一方、「講座や催しに参加することが面倒である」と「講座や催しのテーマに興味・関心がわからない」の2項目は、関心度が低いほど回答割合は高くなっている。(図4-8)

図4-8 消費生活の講座や催しに参加したことがない理由(上位6項目)

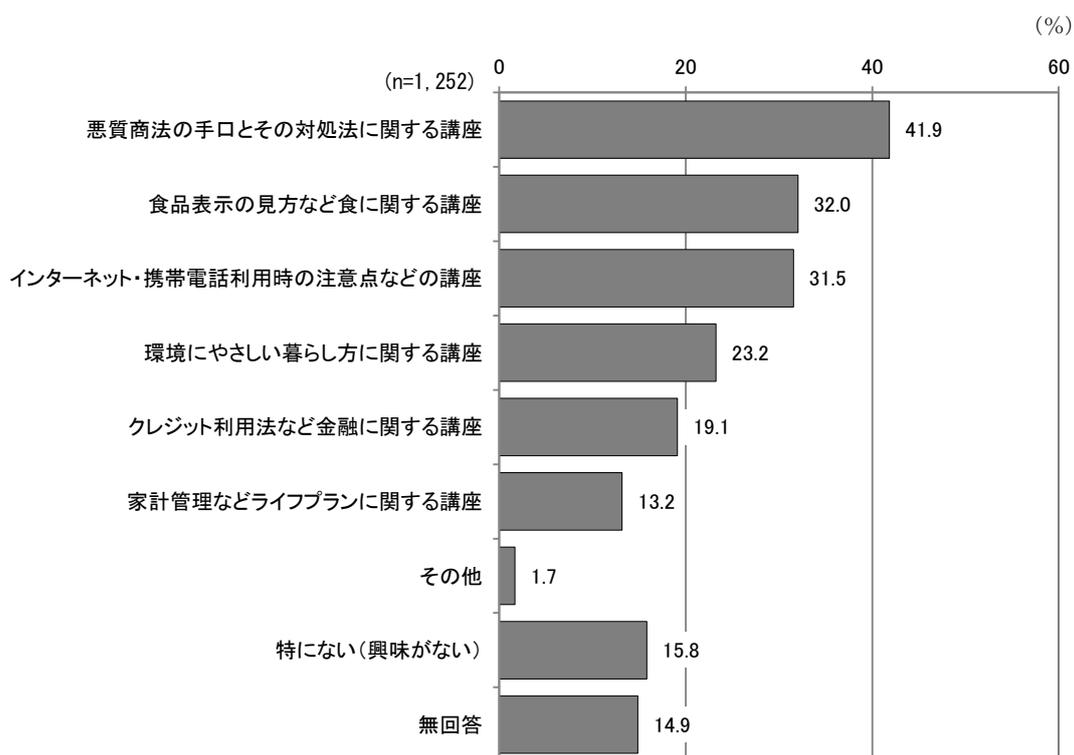


### (3) 参加したい消費生活講座

◆「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」が41.9%

問24 消費生活のどのような講座に参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

図4-9 参加したい消費生活講座



消費生活のどのような講座に参加したいと思うか聞いたところ、「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」(41.9%)が最も多く、約4割となっている。次に、「食品表示の見方など食に関する講座」(32.0%)、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」(31.5%)が続いている。(図4-9)

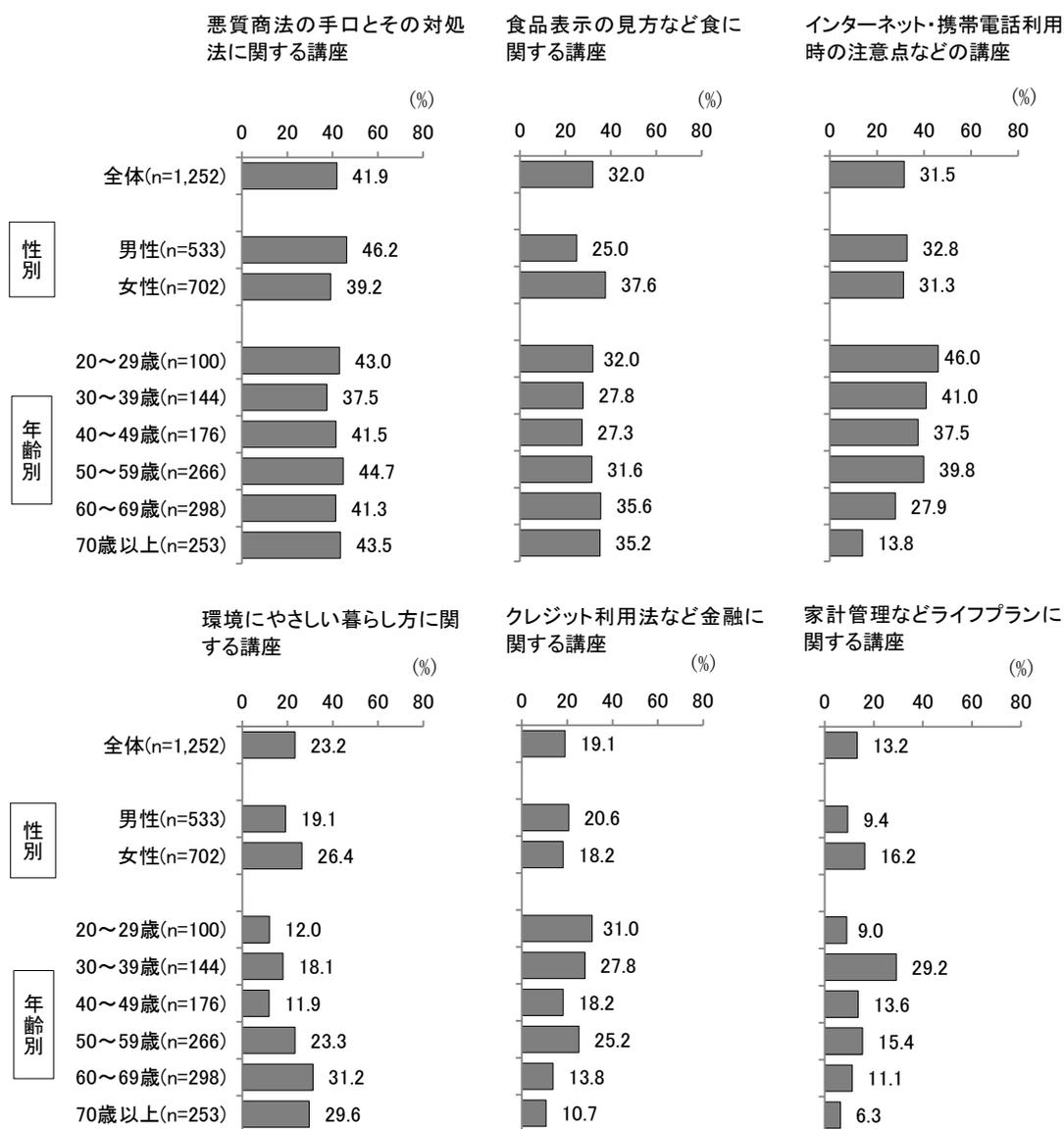
【性別】

「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」、「クレジット利用法など金融に関する講座」の3項目では、男性が女性より回答割合が多くなっている。一方、「食品表示の見方など食に関する講座」、「環境にやさしい暮らし方に関する講座」、「家計管理などライフプランに関する講座」は女性の回答割合が男性を上回っている。特に、「食品表示の見方など食に関する講座」は、女性（37.6%）が男性（25.0%）より12.6ポイント高くなっている。（図4-10）

【年齢別】

「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」は、20～29歳（46.0%）が最も高く、おおむね年齢が上がるにつれ回答割合は低くなっている。（図4-10）

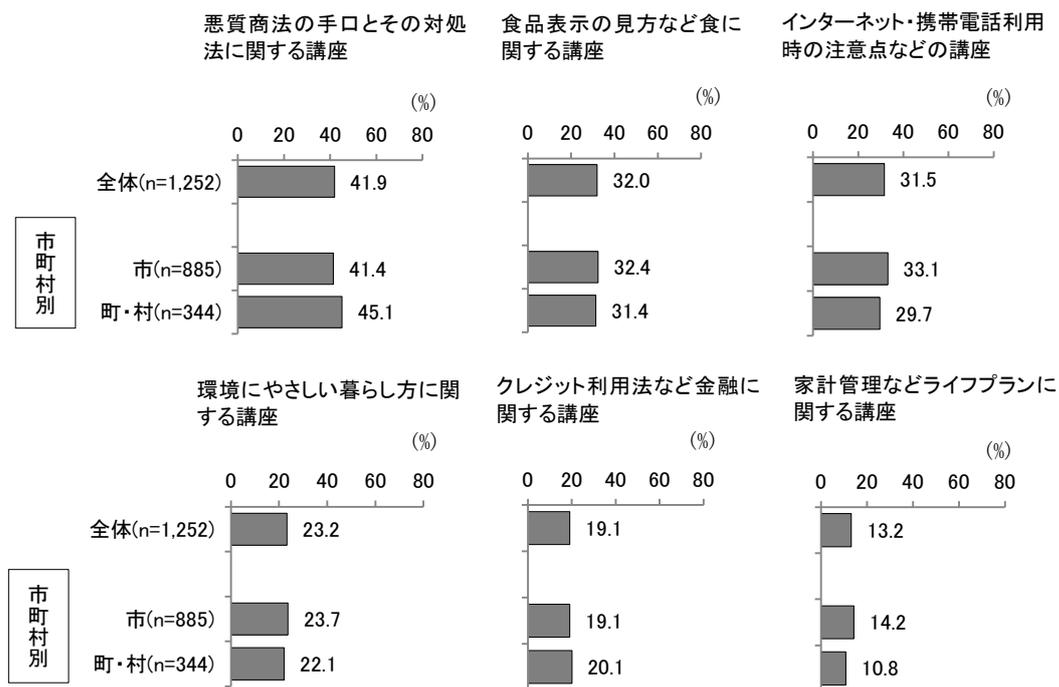
図4-10 参加したい消費生活講座(上位6項目) 性別・年齢別



**【市町村別】**

「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」は、市（41.4%）より、町・村（45.1%）の回答割合が3.7ポイント高くなっている。一方、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」、「家計管理などライフプランに関する講座」は、市が町・村より3.4ポイント高くなっている。（図4-11）

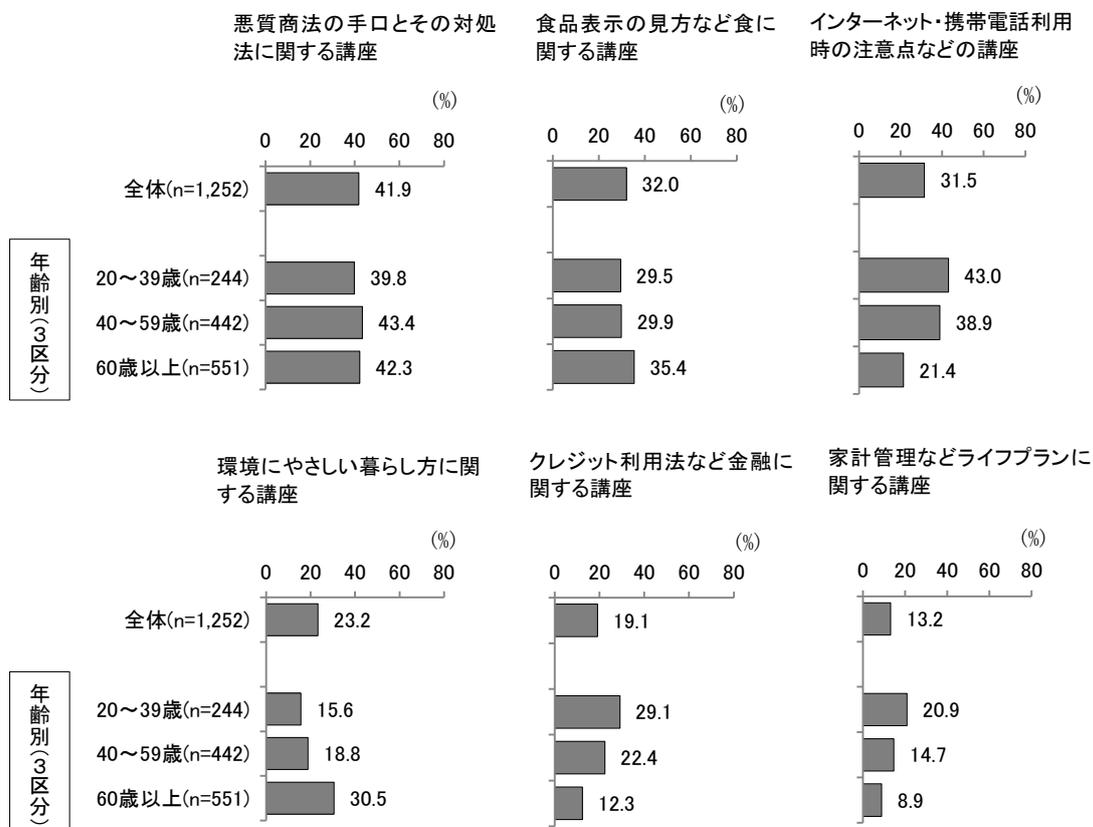
図4-11 参加したい消費生活講座(上位6項目) 市町村別



【年齢別（3区分）】

「食品表示の見方など食に関する講座」、「環境にやさしい暮らし方に関する講座」は、年齢が高くなるほど、回答割合も高くなっている。一方、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」、「クレジット利用法など金融に関する講座」、「家計管理などライフプランに関する講座」の3項目は、年齢が高くなるほど、回答割合は低くなっている。（図4-12）

図4-12 参加したい消費生活講座（上位6項目） 年齢別（3区分）



### 【消費者問題に対する関心度別】

上位6項目中全ての項目で、消費者問題に対する関心が高いほど、回答割合も高くなっている。(図4-13)

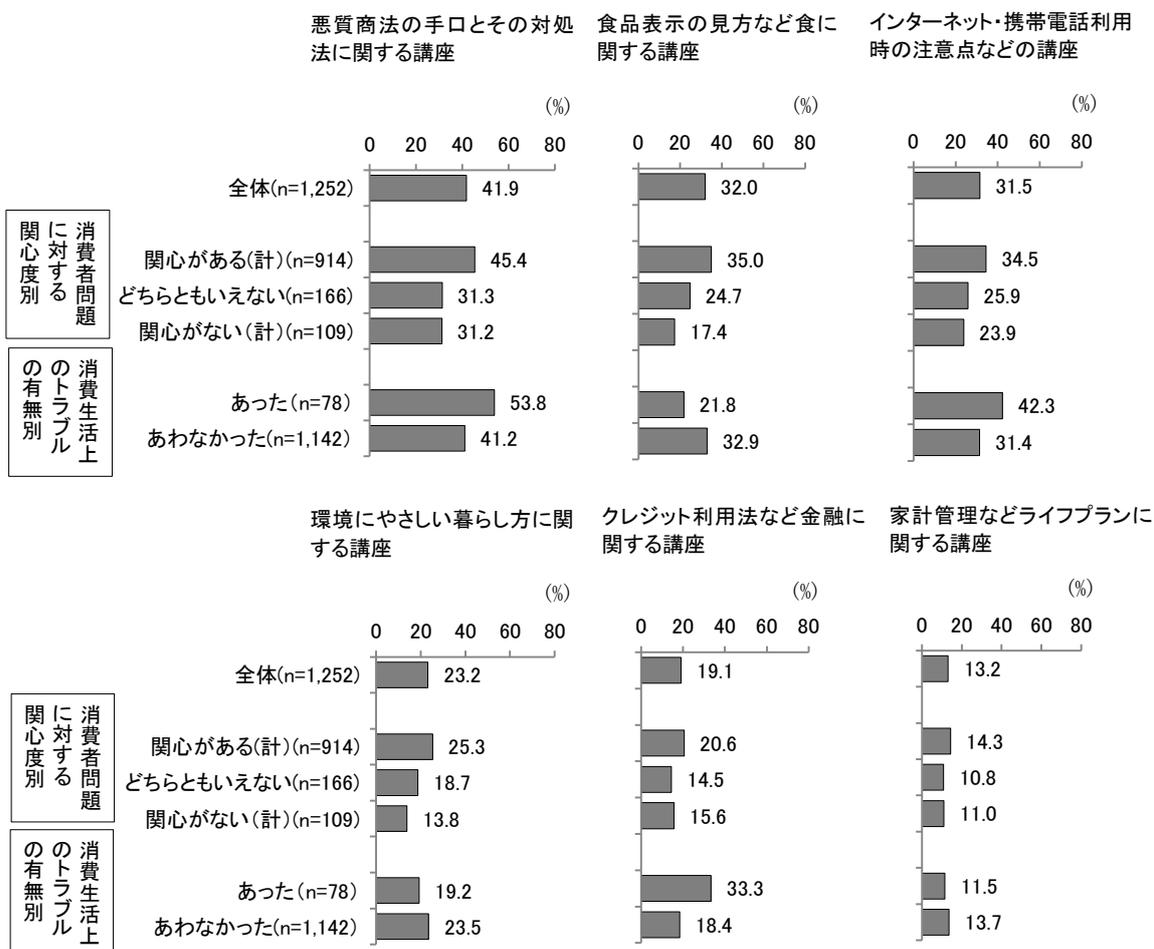
### 【消費生活上のトラブルの有無別】

「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」、「クレジット利用法など金融に関する講座」の3項目では、消費生活上のトラブルに“あった”という人の回答が“あわなかった”人より高くなっている。特に、「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」では12.6ポイント、「クレジット利用法など金融に関する講座」では14.9ポイントの差がある。

一方、「食品表示の見方など食に関する講座」、「環境にやさしい暮らし方に関する講座」、「家計管理などライフプランに関する講座」はトラブルに“あわなかった”人が“あった”人を上回っている。特に、「食品表示の見方など食に関する講座」では11.1ポイントの差となっている。(図4-13)

図4-13 参加したい消費生活講座(上位6項目)

消費者問題に対する関心度別・消費生活上のトラブルの有無別



【契約や取引に対する考え別】

「悪質商法の手口とその対処法に関する講座」、「食品表示の見方など食に関する講座」、「インターネット・携帯電話利用時の注意点などの講座」、「クレジット利用法など金融に関する講座」、「家計管理などライフプランに関する講座」の5項目では、契約や取引に対して“不安を感じている”人ほど回答割合が高くなっている。(図4-14)

図4-14 参加したい消費生活講座(上位6項目) 契約や取引に対する考え別

